

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県 2014年第52週、2015年第1週の発生動向

### トピックス

インフルエンザ（定点把握対象）：2014年第52週(12/22~12/28)の県内の定点当たり報告数は20.9で、今シーズン初めて流行注意報レベル(10.0)を超えました。昨シーズンと比較して3週間早くなっています。また、2015年第1週(12/29~1/4)の定点当たり報告数は25.5でした。県内では、今シーズンはインフルエンザ AH3 型が検出されています。詳細後述。

### 全数報告の感染症（1週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核8例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：E型肝炎1例、つつが虫病1例。

5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘(入院例)1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	1~4歳	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
		都城	80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
			80歳代	男	肺結核	痰、発熱
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
日南	70歳代	女	無症状病原体保有者	—		
4類	E型肝炎	宮崎市	50歳代	男	患者	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	つつが虫病	日南	80歳代	女	患者	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	患者	発熱、嘔吐、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症 ワクチン接種歴：1回
	水痘（入院例）	宮崎市	1歳未満	女	臨床診断例	発熱、発疹 ワクチン接種歴なし
	梅毒	日向	60歳代	男	無症状病原体保有者	—

□ 定点把握の対象となる5類感染症

● 第52週

・定点医療機関からの報告総数は2,324人（定点あたり52.7）で、前週比131%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

● 第1週

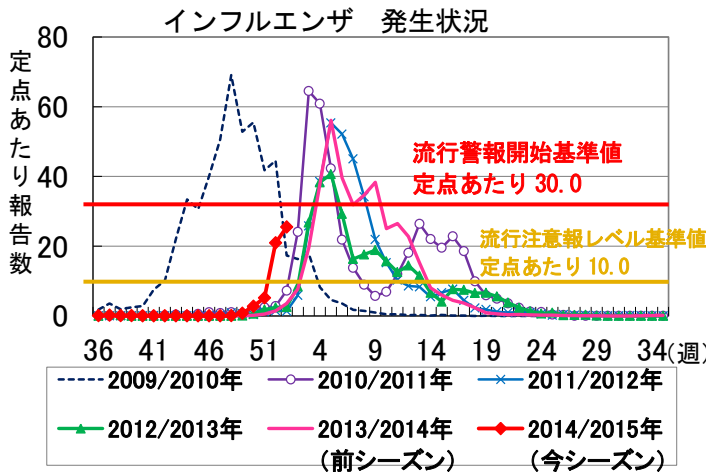
・定点医療機関からの報告総数は1,869人（定点あたり36.5）で、前週比69%と減少した（年末年始の休診含む）。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

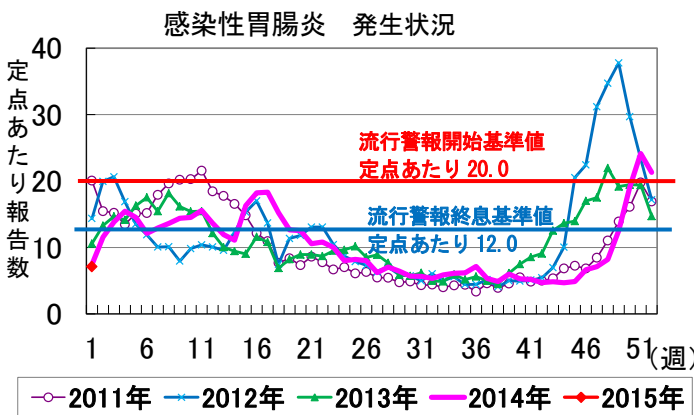
・報告数は1,504人（25.5）で、前週比122%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*（5.7）の約4.4倍であった。都城（52.9）、日南（33.4）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が21%、10-14歳が13%、15-19歳が7%、20-59歳が35%、60歳以上が5%を占めた。

\* 過去4年間の当該週、前週、後週（計12週）の平均値

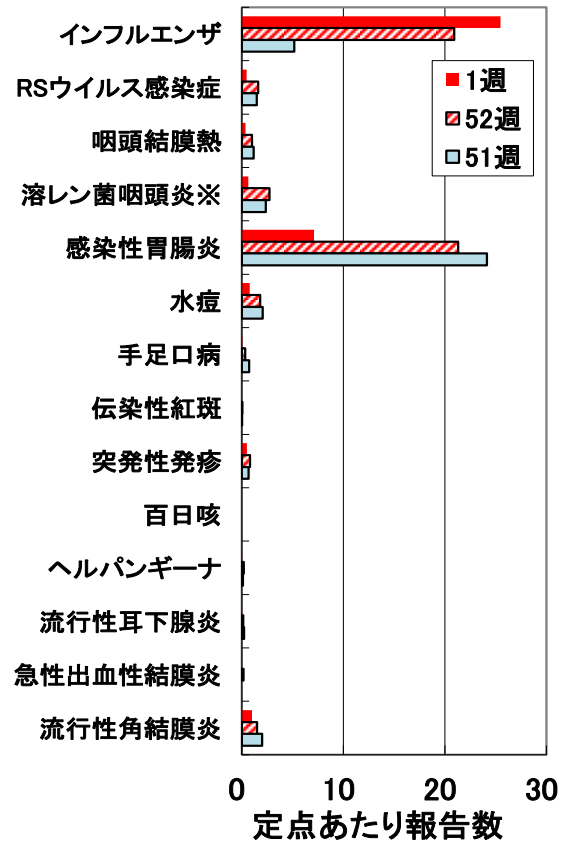


【感染性胃腸炎】

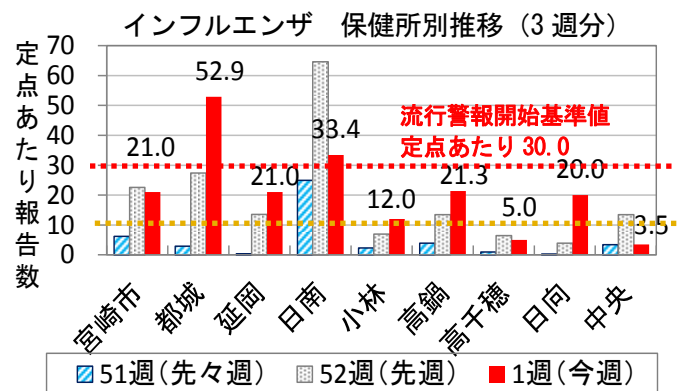
・報告数は256人（7.1）で前週比33%と大幅に減少し、流行警報終息基準値（12.0）を下まわった。年末年始の休診の影響も考えられるため、今後も注意が必要。年齢別では1~2歳が全体の約3割を占めた。



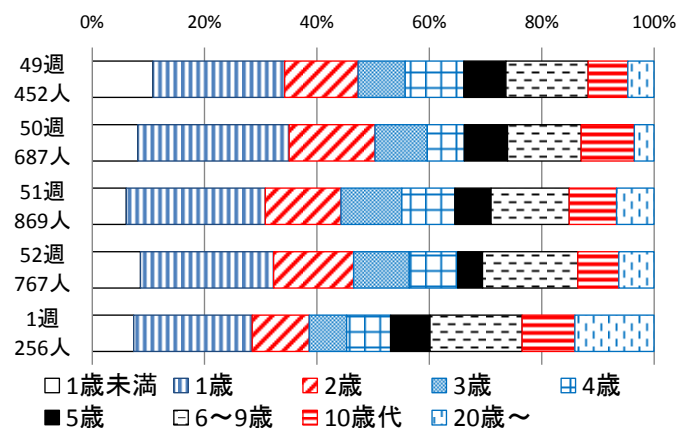
《3週間推移》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎 年齢別推移 (5週分)



★基幹定点からの報告★

● 第52週

感染性胃腸炎（ロタウイルス）：高鍋保健所管内から1人報告された。患者は1～4歳で、群別不明。

● 第1週 報告なし

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

第52週

第1週

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(22.6)、感染性胃腸炎(20.0)
都城	インフルエンザ(27.4)、感染性胃腸炎(20.5)
延岡	インフルエンザ(13.6)、水痘(5.3)
日南	インフルエンザ(64.6)、感染性胃腸炎(32.0)
小林	感染性胃腸炎(55.7)
高鍋	インフルエンザ(13.5)
高千穂	なし
日向	なし
中央	インフルエンザ(13.5)、感染性胃腸炎(26.0)、水痘(4.0)

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(21.0)
都城	インフルエンザ(52.9)
延岡	インフルエンザ(21.0)
日南	インフルエンザ(33.4)
小林	インフルエンザ(12.0)
高鍋	インフルエンザ(21.3)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(20.0)
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(4.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成26年12月29日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4	女	2014.11.28	発熱(39.0℃)、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.16
EHEC(O111:H-VT1,2)	20歳代	女	2014.12.1	発熱、腹痛	便	2014.12.22
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4	女	2014.12.1	発熱、肺炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.16
EPEC(O20:H6 eae)	30歳代	女	2014.12.4	—	便	2014.12.16
EHEC(O121:H19 VT2)	0～4	男	2014.12.8	腹痛、血便	便	2014.12.16
EPEC(O55:H7 eae)	10歳代	男	2014.12.8	—	便	2014.12.17
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5～9	男	2014.12.10	喘息様気管支炎、発熱(37.5℃)	咽頭ぬぐい液	2014.12.24
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	10歳代	女	2014.12.11	—	尿	2014.12.18
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	30歳代	男	2014.12.13	家族内接触、咽喉のイガイガ感	鼻汁	2014.12.24
EPEC(O145:HUT eae)	60歳代	男	2014.12.15	—	便	2014.12.24
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund(O4:d:1,7)	50歳代	女	2014.12.15	—	便	2014.12.24

○ EHECの感染リスクが最も高いのは夏期であるが、12月に入り、2名から腸管出血性大腸菌(EHEC)が分離されている。このうち1名はO121:H19,VT2で、検出数は例年それほど多くないが、今年は4株分離されている。O121によるEHEC感染症は症状も重篤化する傾向がみられることから今後の発生動向に注意していく必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザAH3型	10歳代	男	2014.12.15	インフルエンザA、38.1℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.17
インフルエンザAH3型	10歳代	男	2014.12.15	インフルエンザA、39.7℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.17
インフルエンザAH3型	10歳代	男	2014.12.15	インフルエンザA、38.3℃、上気道炎	鼻汁	2014.12.18
ライノウイルス	0～4	男	2014.12.16	気管支炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.26
ライノウイルスRSウイルス	0～4	女	2014.12.17	呼吸器感染症、38.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.25
RSウイルス	0～4	男	2014.12.10	気管支炎、39.6℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.17
RSウイルス	0～4	男	2014.12.10	RSウイルス気管支炎、39.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.17
RSウイルス	0～4	男	2014.12.18	喘息性気管支炎、39.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.25
RSウイルス	0～4	男	2014.12.18	百日咳、39.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.25
RSウイルス	5～9	男	2014.12.19	気管支喘息、37.7℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.12.25

○インフルエンザ A 型と診断された 3 名からインフルエンザ AH3 型が検出された。国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると AH3 型の割合が最も多く、次いで B 型、AH1pdm09 型の順で検出されている。幼稚園や学校等の子供が多く集まる環境では集団感染の可能性が高くなるため、免疫のない乳幼児は早めのワクチン接種を行うなど予防対策が必要である。  
○気管支炎と診断された乳児 1 名からライノウイルスが検出された。また、呼吸器感染症と診断された幼児 1 名からライノウイルスと RS ウイルスが検出された。一方、下気道炎等の呼吸器疾患を伴った乳児 4 名、幼児 1 名から RS ウイルスが検出された。全国的にも RS ウイルスの患者が増加しており、特に乳児期に RS ウイルスに感染した場合は気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、乳幼児のいる家庭では感染を避けるための注意が必要である。

## 🚩 全国 2014 年第 51 週、第 52 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

#### ● 2014 年第 51 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	320 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	33 例
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	4 例	チクングニア熱	2 例
	つつが虫病	14 例	デング熱	1 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	25 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	後天性免疫不全症候群	22 例	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	17 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	1 例
	麻しん	1 例				

#### ● 2014 年第 52 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	334 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	16 例		
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	2 例	つつが虫病	13 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	3 例	レジオネラ症	26 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例
	水痘（入院例）	2 例	梅毒	29 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	2 例
	麻しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

#### ● 2014 年第 51 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 127%と増加した。今週増加した疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 74,752 人(15.2)で、前週比 206%と大幅に増加した。埼玉県(35.4)、北海道(26.0)、岩手県(24.7)からの報告が多く、年齢別では 5 歳未満が全体の約 13%、5～9 歳が 33%、10～14 歳が 29%、15～19 歳が 5%、20～59 歳が 17%、60 歳以上が 3%を占めた。

#### ● 2014 年第 52 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 124%と増加した。今週増加した疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は R S ウイルス感染症と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は 130,971 人(26.6)で、前週比 176%と大幅に増加した。埼玉県(48.1)、神奈川県(35.9)、福岡県(35.8)からの報告が多く、年齢別では 5 歳未満が全体の約 13%、5～9 歳が 30%、10～14 歳が 25%、15～19 歳が 5%、20～59 歳が 22%、60 歳以上が 5%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第52週(12月22日～12月28日)

疾病名		第51週	第52週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	305	1234	362	274	95	323	35	81	13	24	27
	定点あたり	5.17	20.92	22.63	27.40	13.57	64.60	7.00	13.50	6.50	4.00	13.50
RSウイルス 感染症	報告数	53	58	28	12	6	1	5	4		2	
	定点あたり	1.47	1.61	2.80	2.00	1.50	0.33	1.67	1.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	42	36	8	6	7	8		2		5	
	定点あたり	1.17	1.00	0.80	1.00	1.75	2.67	0.00	0.50	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	85	98	33	17	10	4	4	5	2	18	5
	定点あたり	2.36	2.72	3.30	2.83	2.50	1.33	1.33	1.25	2.00	4.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	869	767	200	123	59	96	167	53	9	34	26
	定点あたり	24.14	21.31	20.00	20.50	14.75	32.00	55.67	13.25	9.00	8.50	26.00
水痘	報告数	74	65	14	5	21	6		1	1	13	4
	定点あたり	2.06	1.81	1.40	0.83	5.25	2.00	0.00	0.25	1.00	3.25	4.00
手足口病	報告数	26	12		7	1	1	1	2			
	定点あたり	0.72	0.33	0.00	1.17	0.25	0.33	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2	2								
	定点あたり	0.03	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	29	8	5	3	3	3	3		3	1
	定点あたり	0.67	0.81	0.80	0.83	0.75	1.00	1.00	0.75	0.00	0.75	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	7	3		1	1	1			1	
	定点あたり	0.11	0.19	0.30	0.00	0.25	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	5		2	1					2	
	定点あたり	0.22	0.14	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	9	9								
	定点あたり	2.00	1.50	3.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点: 59、小児科定点: 36 (インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

上段: 報告数  
下段: 定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～52週)

2類感染症	結核	252例(8)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	31例		
4類感染症	E型肝炎	4例(1)	A型肝炎	15例
	つつが虫病	28例(1)	日本紅斑熱	7例
	レジオネラ症	13例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	後天性免疫不全症候群	13例	ジアルジア症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12例(1)	水痘(入院例)	1例(1)
	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例
	麻疹	4例		

( )内は今週届出分、再掲

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第1週(2014年12月29日～1月4日)

疾病名		第52週	第1週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1234	1504	336	529	147	167	60	128	10	120	7
	定点あたり	20.92	25.49	21.00	52.90	21.00	33.40	12.00	21.33	5.00	20.00	3.50
RSウイルス 感染症	報告数	58	17	7	2	5					3	
	定点あたり	1.61	0.47	0.70	0.33	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	13			6	5		1		1	
	定点あたり	1.00	0.36	0.00	0.00	1.50	1.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	98	23	10		4	3	1	1		4	
	定点あたり	2.72	0.64	1.00	0.00	1.00	1.00	0.33	0.25	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	767	256	64	32	12	55	51	13		14	15
	定点あたり	21.31	7.11	6.40	5.33	3.00	18.33	17.00	3.25	0.00	3.50	15.00
水痘	報告数	65	28	5	3	12	1	2			4	1
	定点あたり	1.81	0.78	0.50	0.50	3.00	0.33	0.67	0.00	0.00	1.00	1.00
手足口病	報告数	12	2			2						
	定点あたり	0.33	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	18	5	2	2			5		3	1
	定点あたり	0.81	0.50	0.50	0.33	0.50	0.00	0.00	1.25	0.00	0.75	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	1	1								
	定点あたり	0.19	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	1	1								
	定点あたり	0.14	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	9	6	6								
	定点あたり	1.50	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週)

報告はありませんでした